

ふるさと歴史散歩 236

～松前史談会レポート～

伊豫岡八幡神社と周辺巡り II

伊豫岡八幡神社は、平安前期の貞観元(859)年に豊前(現福岡県東部と大分県北部地域)の宇佐八幡神宮の祭神を京都男山に遷す途中、神の靈験があつてこの地に建立したと伝えられている。「御難を去る」という57段の石段の参道を上ると、そこに注連柱(明治12年建立)があり「黍稷非馨(しよしょくかぐわしきにあらず) 明德惟馨(めいとくこれかぐわし)」民不易物(たみはものをかえず) 惟徳聚物(ただとくものをつなぐ)」と刻まれている。明治時代に道後温泉本館を建設するなど、道後発展の基礎をつくったことで有名な初代道後湯之町町長伊佐庭知矢の書であり「黍稷(供え物)より徳が大切である」という漢詩である。

伊豫岡八幡神社の左側にある上之川神社にも注連柱(明治25年建立)がある。「山静似太古(やましずかにしてたいこにたり) 日長如小年(ひながくしてしょうねんのごとし)」と刻まれている。こちらは正岡子規の書道の師武知五友の書である。「山は太古のように静かで、一年くらいのように一日を長く感じる」という漢詩であり、この付近の様子を見事に表している。

この森は、松山平野唯一の自然林(照葉の森)で、併せて古墳時代後期の古墳群(地方豪族の墓)でもある。10基の古墳があり1カ所にまとまっているのは県内では珍しい。400年前に造られたかんがい用水用の八幡池も隣接しているので、荘厳な森の中にある神社一帯を訪れてみてはいかが。

さて、唐突ですが問題です。数十年も前、毎年八幡池水抜きの際、池で地元イベントが開かれたそうです。お考えください。ヒントは秋。答えは次号で。次号に続く。(宮内祐記)【参考文献】『いーよぐるっと88』発行・編集 / 伊予市観光協会



1 上之川神社
上吾川に鎮座していた神社を合祀した地域の氏神。伊豫岡八幡神社で一番大きな境内社である。注連柱を揮毫した武知五友は、江戸幕府の昌平學に学び明教館(現松山東高校)で教えた後、明治5年には上高柳の「五松庵」(現老人憩いの家)で塾を開き、近在の子弟に読み・書き・算盤を教えていた時期がある



2 伊豫岡八幡神社拝殿前
元禄7(1694)年に建てられた拝殿。大洲藩主加藤家の祈願所として敬われ、広い社領を有していた。特に雨乞い祈願は、年中行事として行われ「郡中の雨乞い」と称し神事がなされていたという

1月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館 だより

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

北公民館 毎月順番に活動内容をお届け！ 岡田小学校放課後子ども教室



㊦シャボン玉の道具作り
㊧大きなシャボン玉にびっくり！



11月8日、岡田小学校放課後子ども教室を開催し、自称「シャボン玉おじさん」と水本諭先生の指導の下、子どもたちがシャボン玉作りをしました。まずは、シャボン玉の道具作り。ハンガーにモールを巻き付けたり、割り箸の先に丸くしたモールをくりつけたり。子どもたちは、スタッフに手伝ってもらいながら工夫して道具を作りました。次は、シャボン玉液作り。割れにくく、大きなシャボン玉が作れるよう、砂糖や洗濯のりを入れて完成です。そしていよいよシャボン玉遊び。初めはすぐに割れてしまいましたが、こつをつかんだ子どもたちは自分の身長と同じくらい大きなシャボン玉を作って大喜び。子どもたちが作ったシャボン玉は、次々と秋空に飛んでいきました。

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆1月の休館 1日(※)～4日(土)、13日(月)・(※)～17日(金)、31日(金)

おはなし会
18日(土)
11時～

文化センター
2階ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶パンとペンの事件簿
柳広司・著
幻冬舎



ある日、暴漢に襲われたばくを救ってくれたのは、どんな無理難題もペン1本で解決してみせる「売文社」の人たちだった。実在した組織をモチーフに描く、傑作ミステリー

▶コンビニ兄弟 4
町田そのこ・著
新潮社



九州だけに展開するコンビニチェーン「テンダネス」。その名物店「門司港こがね村店」には、老若男女をとりこにする魔性の店長がいる。コンビニを舞台にした、心温まるお仕事小説の第4弾

▶その嘘を、なかったことには
水生大海・著
双葉社



帰宅すると見知らぬ男が死んでいた。後から帰宅した妻に聞いても誰だか分からないという…。物語のラストでこれまでの景色が一変するどんでん返しの短編集

▶縁起のよい樹と日本人
有岡利幸・著
八坂書房



吉祥の王道松竹梅、お金にまつわる縁起木、厄よけのヒヤラギなど、身近にあるめでたい樹木が勢ぞろい。植物文化史の第一人者による草木エッセイ

▶代表作でわかる浮世絵BOX
太田記念美術館 / 編・著
講談社



歌麿や写楽、北斎や広重など、著名な浮世絵師55人の生涯とその代表作を解説。今年の大河ドラマも、背景を知らればもっと楽しくなるかも。浮世絵師とその代表作が分かる1冊

▶不器用解決事典
中島美鈴・著
朝日新聞出版



真面目にやっているのに空回ったりいつまでたっても仕事が終わらなかったり。ループしがちな「うまくいかない」はちょっとした工夫でうまくいく。ADHDの臨床心理士が提案する「しくみ」を集約